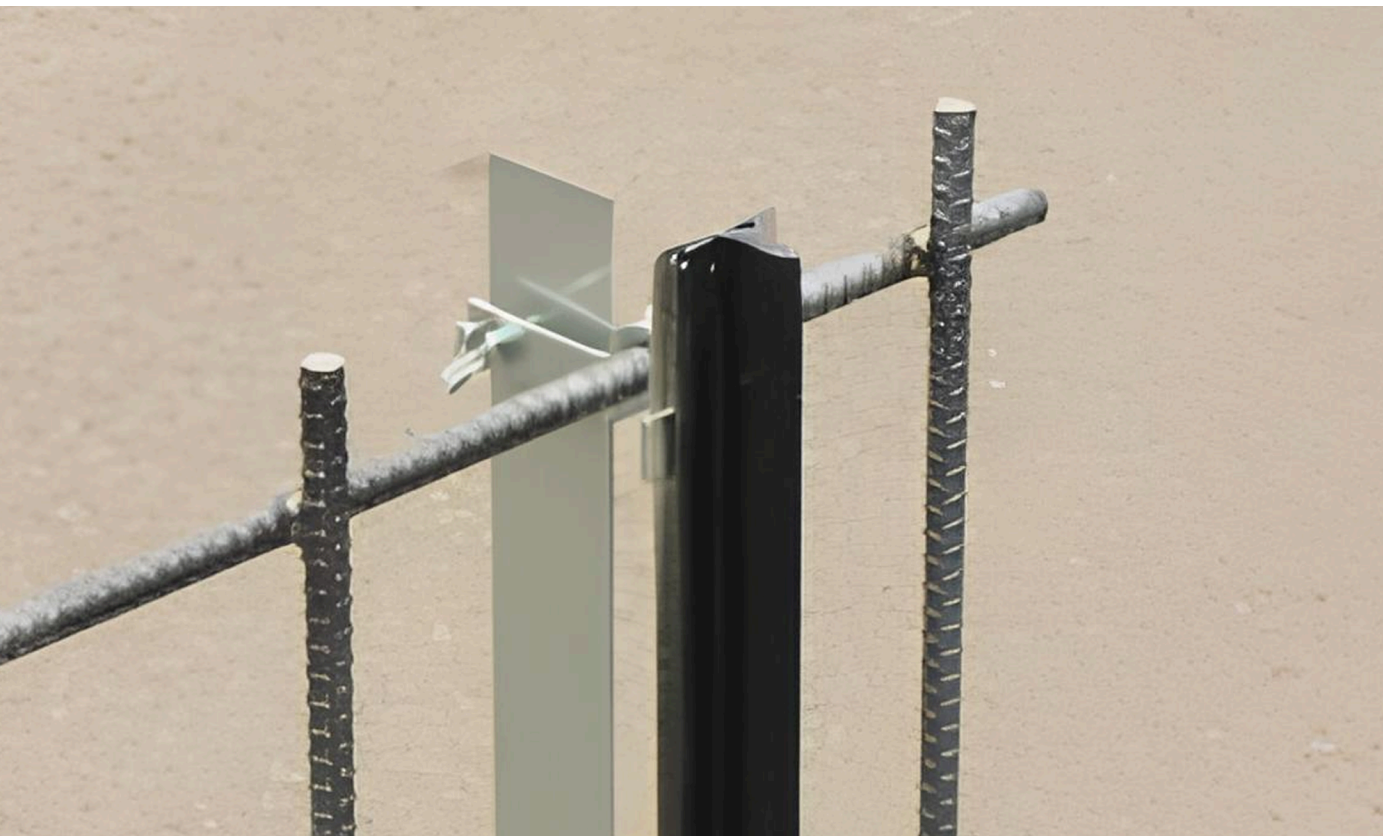


環境製品宣言

ISO 14025およびEN 15804+A2 に準拠しています。 

日本仮設株式会社
KB目地 (Jタイプ)



 日本仮設株式会社

宣言の所有者

日本仮設株式会社
〒063-0836札幌市西区発寒16条14丁目6-50

製品

KB目地 (Jタイプ)

宣言製品/宣言単位

1 kg

この宣言は製品分類規則に基づいています。

EN 15804:2012 + A2:2019、
NPCR 013 鉄鋼およびアルミニウム建設製品
のためのパートB、
NPCRパートA:2021

プログラム運営者

EPDグローバル
マヨルステン私書箱5250号
N-0303 オスロ
ノルウェー

宣言番号

NEPD-11491-11491-2

登録番号

NEPD-11491-11491-2

発行日

14.04.2026

有効期限

13.04.2031

EPDソフトウェア

エミダット・プラットフォーム v1.0.0

一般情報

製品

KB目地（Jタイプ）

プログラム運営者

EPDグローバル

マヨルステン私書箱5250号

N-0303 オスロ

ノルウェー

電話番号+47 23 08 80 00

電子メール：post@epd-norge.no

宣言番号

NEPD-11491-11491-2

この宣言は製品分類規則に基づいています。

EN 15804:2012 + A2:2019、

NPCR 013 鉄鋼およびアルミニウム建設製品のためのパート B、

NPCRパートA:2021

ステートメント

宣言の所有者は、基礎となる情報および証拠に対して責任を負うものとします。ノルウェーEPD財団は、製造者、ライフサイクルアセスメントのデータおよび証拠に関して責任を負いません。

申告単位

1 kg

EPDツールによるEPDの検証に関する一般情報

ISO 14025:2010、§ 8.1.3 および § 8.1.4 に従ったデータ、その他の環境情報および宣言の独立した検証。各 EPD の検証は、ツールが i) 企業の環境マネジメントシステムに統合されていること、ii) EPD ツールの使用手順が EPD グローバルによって承認されていること、iii) 独立した第三者検証者によって毎年プロセスがレビューされていることを要求する、EPD グローバルの検証・承認ガイドラインに従って行われます。EPDツールの詳細については、EPD Globalの一般プログラム指示書の付録Gを参照してください。

EPDツールの検証

FORCE Technology社 シャーロット・マーリン
(署名不要)

宣言の所有者

日本仮設株式会社

連絡先

suzuki@nihonkasettsu.co.jp

電話番号

+81 011-662-2611

電子メール

suzuki@nihonkasettsu.co.jp

製造元

日本仮設株式会社

〒063-0836札幌市西区発寒16条14丁目6-50

生産地

日本、札幌

マネジメントシステム

-

発行日

14.04.2026

有効期限

13.04.2031

調査年

2024

比較可能性

建設製品のEPDは、EN15804に準拠しておらず、建築の文脈で見られない場合、比較できない可能性があります。使用されるデータセットがEN 15804に従って開発されておらず、バックグラウンドシステムが同じデータベース（一次データと二次データを含む）に基づいていない場合、EPDデータは比較できない可能性があります。

EPDの作成と検証

この宣言は、Emidat GmbHが開発したEmidat EPDツール v1.0を使用して作成されました。このEPDツールはEPD Globalによって承認されています。

EPDの開発者： Yee Chow

企業固有の入力データおよびEPDのレビュアー： Hookyung Kim

承認済み



Håkon Hauan, ノルウェーEPD財団

製品

製品概要

KB目地（Jタイプ）は、コンクリート構造物においてひび割れの発生位置を制御するための誘発目地システムです。T字型の本体部材に、化学的にコンクリートと接着するブチルゴム製シール材を一体化した構造となっています。主な構成要素は次の通りです。Jタイプ本体、亜鉛メッキ鋼製の誘発板、そして機械固定用の「KBホルダー（Jタイプ）」。本製品は、スライドロック機構により、目地本体と誘発板の直線性を保持し、施工時の位置精度を確保します。施工時には、鉄筋にホルダーで固定され、コンクリート打設中も安定した状態を維持します。



本製品は、温度によるひび割れを計画的な位置に確実に誘導する必要がある部位で使用されます。後施工のシーリング作業を不要にする設計でハンチ部や曲線部など、複雑な形状にも対応可能。長期的に鉄筋腐食を防止する効果が期待される。

製品仕様

成分名	総重量に占める割合	原産国
金属及び合金	80 - 100 %	日本
プラスチック	10 - 25 %	様々な

技術データ

	単位	数値
密度	kg / m ³	735
総質量	kg	1

市場

日本

受領者

B2B

LCA：計算ルール

申告単位

1 kg

参考耐用年数

定義なし

データ品質

フォアグラウンドデータは、製造業者の生産現場における広範かつ詳細なデータ収集に基づいており、原材料の調達、配合、製造などの主要プロセスを網羅しています。これらのフォアグラウンドデータは、バックグラウンドデータベース（ecoinvent 3.10）の対応するデータセット、またはEN15804+A2準拠のEPDと完全にリンクされており、一貫性、信頼性を確保し、最新の業界標準との整合性を維持します。

データの代表性は、地理的、技術的、時間的な代表性を考慮し、データの品質評価に関するEN 15804+A2 Annex Eガイダンスに従い、総合スコア4.00/5で良好と評価。

システム境界（X=含まれる、MND=宣言されていないモジュール）

	生産			設置方法		使用段階							使用済み製品				次の製品システム その先のメリットと負荷 システム境界
	原材料供給	輸送	製造工程	輸送	設置プロセス	使用方法	メンテナンス	修理	交換	改装	エネルギー使用量	水使用量	解体	輸送	廃棄物処理	廃棄	
モジュール	A1	A2	A3	A4	A5	B1	B2	B3	B4	B5	B6	B7	C1	C2	C3	C4	D
宣言されたモジュール	x	x	x	x	MND	MND	MND	MND	MND	MND	MND	MND	x	x	x	x	x
地理			JP	JP	MND	MND	MND	MND	MND	MND	MND	MND	JP	JP	JP	JP	JP

A1およびA2でモデル化された地域については、以下を参照してください。製品仕様

EPDの種類：ゆりかごからゲートまで（オプションあり）、モジュールC1～C4、D

材料の生産と建設の段階

モジュールA1：原材料の抽出と加工

モジュールA2：原材料の工場への輸送

モジュールA3：工場でのファスナーおよび固定具の生産と廃棄物処理

モジュールA4：建設現場への輸送

廃棄段階

モジュールC1：環境影響を無視した解体

モジュールC2：廃棄ファスナーと固定具の加工輸送

モジュールC3：ファスナーと固定具のリサイクル

モジュールC4：最終埋立処分

システム境界外のクレジットと負担

モジュールD：一次材料ベースの製品の代替としての再生ファスナー及び固定具の使用によるクレジットと負担

カットオフ基準

カットオフは適用していません。

割り当て

フォアグラウンドインベントリデータ（エネルギーと燃料、補助材料、排出物、廃棄物）を生産工程レベルで収集。2024年の生産工程の総生産量を用いて、これらのフローを質量に基づいて基準製品に割り当てます。

LCA：シナリオと追加技術情報

以下の情報では、EPDのさまざまなモジュールにおけるシナリオについて説明します。

建築現場への輸送 (A4)	数値	単位
輸送質量	1.00	kg
トラック距離	300.00	km
トラックエネルギー需要	1.58	MJ / t*km
トラック活動内容	輸送、貨物、ローリー>32メトリックトン、EURO6	-
トラック稼働率	53.30	%

解体 (C1)	数値	単位
解体・分別用ディーゼル	0.04	MJ
選別用電力	0.01	kWh

廃棄施設までの輸送 (C2)	数値	単位
埋立処分量	0.10	kg
リサイクルまでの質量	0.90	kg
埋立地までの距離	50.00	km
リサイクルまでの距離	50.00	km
トラック活動内容	輸送、貨物、ローリー>32メトリックトン、EURO6	-
トラック稼働率	53.30	%
トラック距離	50.00	km
トラックエネルギー需要	1.58	MJ / t*km

廃棄物処理 (C3)	数値	単位
リサイクル材料	0.90	kg
リサイクル率	90.00	%

廃棄 (C4)	数値	単位
埋立材料	0.10	kg

再使用、回収、リサイクルの可能性 (D)	数値	単位
システムが取り込む副資材の量	0	kg
一次鋼材の代替	0.90	kg

EN 15804+A2 に基づく利点と負荷の計算。

LCA：結果

主な環境影響指標

指標	単位	A1-A3	A4	C1	C2	C3	C4	D
GWP-総計	kg CO ₂ -eq.	2.72e+00	3.12e-02	1.07e-02	5.20e-03	1.29e+00	6.26e-04	-4.39e-01
GWP-化石	kg CO ₂ -eq.	2.71e+00	3.12e-02	1.07e-02	5.19e-03	1.29e+00	6.25e-04	-4.46e-01
GWP-生物起源	kg CO ₂ -eq.	8.00e-03	4.88e-07	-1.35e-05	8.14e-08	0.00e+00	0.00e+00	6.49e-03
GWP-luluc	kg CO ₂ -eq.	1.36e-03	1.30e-05	9.19e-07	2.17e-06	7.46e-04	3.25e-07	2.05e-04
ODP	kg CFC-11-Eq	8.30e-08	5.01e-10	1.77e-10	8.35e-11	7.01e-09	1.81e-11	1.47e-09
AP	mol H ⁺ -Eq	1.29e-02	7.94e-05	6.75e-05	1.32e-05	5.57e-03	4.43e-06	-3.97e-04
EP-淡水	kg P-Eq	2.24e-03	2.52e-06	1.47e-06	4.21e-07	5.20e-04	5.19e-08	-8.43e-05
EPマリン	kg N-Eq	2.88e-03	2.02e-05	2.18e-05	3.36e-06	1.38e-03	1.69e-06	6.04e-06
EP-地上波	mol N-Eq	3.29e-02	2.18e-04	2.37e-04	3.64e-05	1.19e-02	1.84e-05	-2.93e-03
POCP	kg NMVOC-Eq	1.05e-02	1.20e-04	7.16e-05	2.00e-05	4.17e-03	6.60e-06	-8.30e-04
ADPE	kg Sb-Eq	5.69e-05	9.00e-08	8.67e-09	1.50e-08	3.16e-06	9.92e-10	1.95e-06
ADPF	MJ、正味発熱量	3.22e+01	4.69e-01	1.38e-01	7.82e-02	1.37e+01	1.53e-02	-2.51e+00
WDP	m ³ 世界に奪われたEq	7.78e-01	2.25e-03	9.11e-04	3.75e-04	6.59e-01	4.29e-05	2.14e-01

GWP-総計: 地球温暖化係数-合計GWP-化石: 地球温暖化係数-化石GWP-生物起源: 地球温暖化係数-生物起源GWP-luluc: 地球温暖化係数-lulucODP: 成層圏オゾン層破壊係数AP: 酸性化係数、累積超過率EP-淡水: 富栄養化係数-淡水EPマリン: 富栄養化ポテンシャル-海洋EP-地上波: 富栄養化ポテンシャル-陸上POCP: 光化学オゾン生成ポテンシャルADPE: 生物学的枯渇ポテンシャル-非化石資源ADPF: 生物学的枯渇ポテンシャル-化石資源WDP: 水（使用者）剥奪ポテンシャル

追加指標

指標	単位	A1-A3	A4	C1	C2	C3	C4	D
PM	発病率	2.32e-07	3.06e-09	1.08e-09	5.10e-10	1.32e-07	1.01e-10	-1.94e-08
IRP	kBq U235-Eq	8.66e-02	4.14e-04	5.17e-04	6.89e-05	5.46e-02	9.77e-06	3.10e-02
ETP-fw	CTUe	8.06e+01	1.13e-01	2.08e-02	1.88e-02	2.37e+01	2.10e-03	-3.40e+01
HTP-c	CTUh	1.68e-07	1.60e-10	2.75e-11	2.67e-11	4.10e-08	2.83e-12	-1.28e-07
HTP-nc	CTUh	3.66e-08	3.08e-10	3.88e-11	5.14e-11	8.44e-08	2.75e-12	6.97e-08
SQP	無次元	1.04e+01	4.71e-01	2.60e-02	7.86e-02	3.30e+00	3.02e-02	-7.10e-01

PM: PM排出による潜在的疾病発生率IRP: U235に対する潜在的人体被ばく効率ETP-fw: 生態系に対する潜在的比較毒性単位HTP-c: ヒトに対する潜在的比較毒性単位-がんへの影響HTP-nc: ヒトに対する潜在的比較毒性単位-非がん影響SQP: ポテンシャル 土壌品質指数

IRP: この影響分類は、主に核燃料サイクルにおける低線量電離放射線の人体への最終的な影響を扱います。想定される原子力事故、職業被ばく、地下施設での放射性廃棄物処分による影響は考慮していません。また、土壌、ラドン、建設資材からの潜在的な電離放射線も、この指標では測定されていません。

ETP-fw, HTP-c, HTP-nc また SQP: これらの環境影響指標の結果は、不確実性が高いため、またはこれらの指標の経験が少ないため、注意して使用する必要があります。

資源の使用

指標	単位	A1-A3	A4	C1	C2	C3	C4	D
PERE	MJ	2.83e+00	6.15e-03	9.19e-03	1.02e-03	9.20e-01	1.42e-04	4.00e-01
PERM	MJ	0.00e+00	0.00e+00	0.00e+00	0.00e+00	0.00e+00	0.00e+00	0.00e+00
PERT	MJ	2.83e+00	6.15e-03	9.19e-03	1.02e-03	9.20e-01	1.42e-04	4.00e-01
PENRE	MJ	2.89e+01	4.69e-01	1.38e-01	7.82e-02	1.37e+01	1.53e-02	-2.51e+00
PENRM	MJ	3.32e+00	0.00e+00	0.00e+00	0.00e+00	-2.99e+00	0.00e+00	0.00e+00
PENRT	MJ	3.22e+01	4.69e-01	1.38e-01	7.82e-02	1.07e+01	1.53e-02	-2.51e+00
SM	kg	0.00e+00	0.00e+00	0.00e+00	0.00e+00	0.00e+00	0.00e+00	9.00e-01
RSF	MJ	0.00e+00	0.00e+00	0.00e+00	0.00e+00	0.00e+00	0.00e+00	0.00e+00
NRSF	MJ	0.00e+00	0.00e+00	0.00e+00	0.00e+00	0.00e+00	0.00e+00	0.00e+00
FW	m ³	1.73e-02	6.90e-05	2.28e-05	1.15e-05	-1.55e-02	1.59e-05	-2.47e-02

PERE: 一次エネルギー資源-再生可能: エネルギーキャリアとしての使用 PERM: 一次エネルギー資源-再生可能: 原材料として使用 PERT: 一次エネルギー資源-再生可能エネルギー: 合計 PENRE: 一次エネルギー資源-再生不可能: エネルギーキャリアとしての使用 PENRM: 一次エネルギー資源-非再生可能: 原材料として使用 PENRT: 一次エネルギー資源-非再生可能: 合計 SM: 副資材の使用 RSF: 再生可能な二次燃料 NRSF: 再生不可能な二次燃料 FW: 淡水の純使用量

廃棄物の流れ

指標	単位	A1-A3	A4	C1	C2	C3	C4	D
HWD	kg	0.00e+00	0.00e+00	0.00e+00	0.00e+00	0.00e+00	0.00e+00	0.00e+00
NHWD	kg	0.00e+00	0.00e+00	0.00e+00	0.00e+00	0.00e+00	1.00e-01	0.00e+00
RWD	kg	0.00e+00	0.00e+00	0.00e+00	0.00e+00	0.00e+00	0.00e+00	0.00e+00

HWD: 有害廃棄物 NHWD: 廃棄される非有害廃棄物 RWD: 放射性廃棄物の処理

出力フロー

指標	単位	A1-A3	A4	C1	C2	C3	C4	D
CRU	kg	0.00e+00	0.00e+00	0.00e+00	0.00e+00	0.00e+00	0.00e+00	0.00e+00
MFR	kg	0.00e+00	0.00e+00	0.00e+00	0.00e+00	9.00e-01	0.00e+00	0.00e+00
MER	kg	0.00e+00	0.00e+00	0.00e+00	0.00e+00	0.00e+00	0.00e+00	0.00e+00
EEE	MJ	0.00e+00	0.00e+00	0.00e+00	0.00e+00	0.00e+00	0.00e+00	0.00e+00
イト	MJ	0.00e+00	0.00e+00	0.00e+00	0.00e+00	0.00e+00	0.00e+00	0.00e+00

CRU: 再利用部品 MFR: リサイクル材料 MER: エネルギー回収材料 EEE: 輸出電気エネルギー イト: 輸出熱エネルギー

名称	数値	単位
製品中の生物起源炭素含有量	0.00e+00	kg C
付属パッケージの生物起源炭素含有量	0.00e+00	kg C

追加要求事項

製造段階での電力使用による温室効果ガス排出量

該当なし

危険物質

本製品には、REACH候補物質リストおよびノルウェー優先リストで指定された有害物質は含まれていません。

その他の環境情報







建設製品のNPCR Part Aで要求される追加の環境影響指標

指標	単位	A1-A3	A4	C1	C2	C3	C4	D
GWP-IOBC	kg CO ₂ -eq.	2.73e+00	3.12e-02	1.07e-02	5.20e-03	1.29e+00	6.26e-04	-4.44e-01

GWP-IOBC: 地球温暖化係数-生物起源炭素の瞬間酸化量

参考文献

CEN/TR 15941:2010	建設工事の持続可能性 - 環境製品宣言 - 汎用データの選択と使用のための方法論
EN 15804:2012+A2:2019	建設工事の持続可能性 - 環境製品宣言 - 建設製品の製品カテゴリーのコアルール
EN 15942:2022-04	建設工事の持続可能性 - 環境製品宣言 - 企業間コミュニケーションフォーマット
ISO 14025:2011-10	環境ラベルと宣言 - タイプIII環境宣言 - 原則と手順
ISO 14040:2021-02	環境マネジメント - ライフサイクルアセスメント - 原則と枠組み
ISO 14044:2021-02	環境マネジメント - ライフサイクルアセスメント - 要求事項とガイドライン
EF 3.1	環境フットプリント (EF) ライフサイクル影響評価法-特性化係数バージョン3.1、欧州委員会、共同研究センター (JRC)
ecoinvent 3.10	ecoinvent, チューリッヒ、スイス、データベースバージョン3.10
NPCR 013:2021	製品分類規則、パートB：鉄鋼およびアルミニウム建設製品。発行日：2021.06.10; 有効期限：2026.06.30まで延長。
NPCRパートA:2021	建設製品とサービス、バージョン2.0。発行日：2021.03.24; 有効期限：2026.03.24まで延長。

 Powered by EPD-Norway	プログラム運営者	電話番号 +47 23 08 80 00
	EPDグローバル P.O. Box 5250 Majorstuen, N-0303 Oslo ノルウェー	電子メール post@epd-norge.no ウェブ www.epd-global.no
 Powered by EPD-Norway	出版社	電話番号 +47 23 08 80 00
	EPDグローバル P.O. Box 5250 Majorstuen, N-0303 Oslo ノルウェー	電子メール post@epd-norge.no ウェブ www.epd-global.no
 日本仮設株式会社	宣言の所有者	電話番号 +81 011-662-2611
	日本仮設株式会社 〒063-0836札幌市西区発寒16条14丁目6-50 日本	電子メール suzuki@nihonkasetu.co.jp ウェブ https://www.nihonkasetu.co.jp/
	ライフサイクルアセスメントの作成者	電話番号 +44 78 86 08 11 92
	ゼベロ 81-87ハイ・ホルボーン、ロンドンWC1V 6DF イギリス	電子メール info@zevero.earth ウェブ www.zevero.earth
	ECOプラットフォーム ECOポータル	ウェブ www.eco-platform.org ウェブ ECOポータル
		EPD作成者
	エミダット社 Sandstraße 33, 80335 München ドイツ	電子メール epd@emidat.com ウェブ www.emidat.com